

令和4年10月7日

意見発表

鈴木委員

私からは4点。まず、第11次神奈川県職業能力開発計画案について、かなりやり取りを厳しめに、私も今回やらせていただきました。やはりこの案については審議会に諮ってやるということですのでけれども、しっかりとあなた方としてのどのような第10次の総括があるのかということは、きちっとやはりもう一度書き直して、修正をしてもらいたい。中でも私がとてもやはり残念だったのは、6月の定例会でリスクリングってきちっと入れるべきだというふうにあなた方に提言したのに、審議会の方々がなどという形でリカレントと一緒にひっくるめてしまった。ところが3日前か、岸田首相からリスクリングについて約1兆円の投資というお話が出て、メディアももう一気にリスクリングという話がいرونなところで出てきて、こういうことになった経緯というのは、まだ私は分からないけれども、やはりこちら側の議会としての提言というようなことについては、真摯にあなた方がこういうようなことに対応するということが、私は大事なんじゃないかというふうに思ったんで、あえてまたお話をしておきたい。

2点目は、ベンチャー支援について。ベンチャー支援について3つの観点から、新たな市場の開拓と新規の雇用創出、あわせて新たな技術やビジネスマネジメントの創出という観点から、しっかりと取り組んでほしいということで課長にもお願いしたけれども、しっかりとEBPMという観点から、これもアウトカムもしっかりと県民に分かるように示しなさいということだけ言っておきたいと思います。

3点目はさがみロボット産業特区。局長から、3期に向けて10市2町とどのような支援策によりロボット産業をさらなる産業に促していくのかという協議をしていると、また、特区の将来の姿を踏まえた新たな目標、特に10市2町がどれだけ利益が得られるか、またそれを評価する指標みたいなもの設定について、10市2町と検討していくという答弁を頂いた。これもまたしっかりと費用対効果もひっくるめて、うまく形にしていきたい。ロボット産業に対応している課長さんにもいろいろと私はお話ししたいんだけど、いろんなものを出すのは結構。だけれども、どんどん民間は物すごい勢いで進んでいますよ。昨日の日経かなんかだったと思うけれども、ロボットがどの機種でも一括して遠隔操作ができるシステムというのをどこかのメーカーからも出てきて、いよいよ販売に入るといような話を聞きました。この地点でもって、どんなことをやったとしても、大変失礼な言い方かもしれないけれども周回遅れどころか相当遅れていると。私はやはり民間のビジネスを超えるものにするのか、一体何がしたいのかということ、ロボットについてはもう一度しっかりと明確に出してくださいよ。そうしないと、1回1回記者発表でこんなことしましたって、私からすると言葉悪いかもしれないけれども、ちゃちなものをどれだけ見せられても、民間にはもっとそれより何倍も速い勢いでもってすばらしい

ロボットがあるということだけ言っておきたいと思います。

最後に、4点目は中小企業について。部長からわざわざ答弁を頂いてありがとうございました。貸付けはこれこれこういう目標がいっぱいあったとしても、やはりこれから厳しい中でもって倒産を迎えるそういう企業等と、ある意味でやはりデジタルをシステムとしてしっかりとつくっていただきながら、入り口じゃなくて出口でどうなったかということに、一刻も早く、やはり県としてどのように対応していくのかということは、私は一石二鳥じゃないかと思っています。出口が大事だと。これをもう一度見ていただいて、一つまたシステムつくりなり、デジタルについての方向性をつくっていただきたいをお願いします。

以上で公明党として諸議案に賛成いたします。